

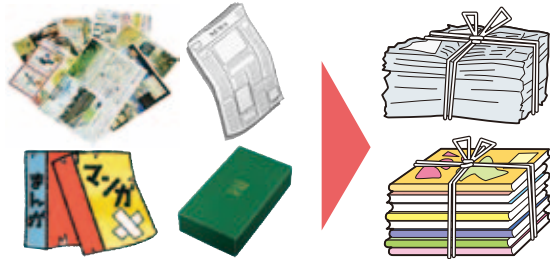
古紙・布類・ペットボトルの分け方、出し方

紙のリサイクルを進めることは、木材資源の有効利用になるだけでなく、省エネルギー、ごみの減量などにも大きく役立っています。しかし、古紙の種類ごとに違った製品に再生される

ため、異種・異物が混入していると、再生資源処理のためのエネルギーが増えてしまいます。次の図にあるものは、それぞれの収集日に出してください。

- 新聞(折り込みチラシ)
- 雑誌(週刊誌・漫画・紙袋・紙箱などおおむね20cm以上のもの)

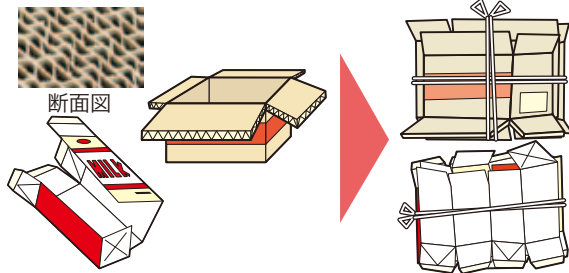
※紙袋のひも(糸製)は取り外して「燃やせるごみ」の日に出してください



平らに伸ばしてひもで十文字に束ねる(ダンボールの中に入れない)

- ダンボール(断面が波状になっているもの)
- 飲料用紙パック

※内側が銀色のアルミ加工のものは「燃やせるごみ」の日に出してください



平らに伸ばしてひもで束ねる

- 衣類・布類(タオル・シーツ・Tシャツ・トレーナー・ジーンズジャケット・ジーパン・セーター・スーツ・ポロシャツ・体操服・毛布・着物など、洗濯してきれいなもの)

※コート・ジャンパー・スキーウェアなどの綿や羽毛が入ったもの、革製品・カーテン・枕などは「燃やせるごみ」の日に出してください



洗って乾かし、透明・半透明の袋に入れる

- ペットボトル【清涼飲料水用・酒類用(焼酎、ワインなど)・調味料用(醤油、めんつゆ、みりん、酢、ドレッシングなど)】

※キャップは、取り外して「容器包装プラスチック」の日に出してください

※必ず中身を使い切ってから中をきれいにしてください



中身を使い切ってから中をきれいにし透明・半透明の袋に入れる

リサイクルが困難なもの



写真、粘着テープ類、感熱紙、内側がアルミ加工の飲料用紙パック、カーボン紙、油等が付着した紙などは「燃やせるごみ」の日に出してください。

紙に混入しやすいもの



金属クリップ類、ファイルの金具、プラスチックファイル、フィルム類、粘着テープ類、布製品などは外して出してください。